

2007年(平成19年)10月26日

各位

エプソントヨコム株式会社  
代表取締役社長 宮澤 要  
(コード番号 6708 東証第一部)  
お問い合わせ先 経営管理部  
TEL(042)581-1707(代)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年4月26日の決算発表時に公表いたしました平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の中間期及び通期業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 連結業績予想数値の修正

(1) 平成20年3月期 中間連結業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想(A)	47,000	5,000	6,000	4,100	22.61
今回修正予想(B)	47,700	3,600	8,000	5,100	28.12
増減額(B-A)	700	1,400	2,000	1,000	5.51
増減率(%)	1.5	28.0	33.3	24.4	24.4
(ご参考)前期実績 (平成18年9月中間期)	46,377	5,628	6,956	4,246	24.26

(2) 平成20年3月期 通期連結業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想(A)	100,000	12,500	14,500	9,500	52.38
今回修正予想(B)	100,000	9,000	14,500	9,500	52.38
増減額(B-A)	-	3,500	-	-	-
増減率(%)	-	28.0	-	-	-
(ご参考)前期実績 (平成19年3月期)	92,842	10,976	13,693	8,624	48.66

## 2. 個別業績予想数値の修正

(1) 平成20年3月期 中間個別業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想(A)	46,000	4,400	4,400	3,100	17.09
<b>今回修正予想(B)</b>	<b>46,700</b>	<b>2,900</b>	<b>6,400</b>	<b>3,700</b>	<b>20.40</b>
増減額(B-A)	700	1,500	2,000	600	3.31
増減率(%)	1.5	34.1	45.5	19.4	19.4
(ご参考)前期実績 (平成18年9月中間期)	45,501	4,843	5,220	2,841	16.23

(2) 平成20年3月期 通期個別業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想(A)	98,000	11,000	11,000	7,000	38.60
<b>今回修正予想(B)</b>	<b>98,000</b>	<b>7,500</b>	<b>11,000</b>	<b>7,000</b>	<b>38.60</b>
増減額(B-A)	-	3,500	-	-	-
増減率(%)	-	31.8	-	-	-
(ご参考)前期実績 (平成19年3月期)	90,992	9,546	10,204	5,982	33.76

## 3. 修正理由

売上高はほぼ予想通りとなる見込みではありますが、販売価格の下落や、原材料価格の高騰等の影響もあり製品のコストダウンが当初計画より遅れたこと、加えて堅調な市場動向をふまえ、工場建物や生産設備を増強するなど将来の需給への対応のため生産体制の強化を図っており、費用等の負担が増加していることから営業利益の悪化が見込まれます。

一方、特別目的会社を活用した不動産流動化スキームの解消に伴い、匿名組合契約に基づく利益分配(営業外収益35億円)が発生したため、連結・個別の中間期の経常利益、当期純利益の増加が見込まれます。

以上のことから連結・個別の中間期及び通期業績予想を修正いたします。

上記予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上